

第14回 村上市議会議会改革調査特別委員会記録

- 1 日 時 令和5年10月16日(月) 午前10時30分
- 2 会 場 村上市役所 第1委員会室
- 3 報告
 (1) 調査結果等の報告
- 4 協議事項
 (1) 議員定数について
 (2) その他
- 5 出席委員(7名)

1番 鈴木一之君	2番 高田 晃君
3番 河村幸雄君	4番 鈴木いせ子君
6番 本間善和君	7番 尾形修平君
8番 長谷川 孝君	
- 6 欠席委員(1名)

5番 木村貞雄君

- 7 地方自治法第105条による出席者
 議長 三田敏秋君
- 8 委員外議員(なし)
- 9 議会事務局職員

局 長 内山治夫
次 長 鈴木 涉
書 記 中山 航

(午後10時30分)

委員長(長谷川 孝君)開会を宣する。

長谷川委員長 本日の委員会は、前回の調査内容を確認した後、議員定数についてご協議いただくことにしているので、よろしくお願いいたします。

3- (1) 調査結果等の報告

長谷川委員長 初めに、次第の2、報告だ。(1) 調査結果等の報告について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局 局長 それでは資料をご覧ください、第13回議会改革調査特別委員会の概要をご覧くださいと思う。開催日は9月28日である。(1)といたして、議員定数についてである。丸3つ書いてあるが最初の丸、議員定数の方向性については、削減の方向で一致した。一方、削減の時期については、次期市議会議員選挙に間に合わせて、第4期の任期中に決

定するとの意見が多数を占めたが、選挙の準備に入る時期も迫っている中で、慎重に判断すべきとの意見もあり、決定には至らなかったということである。丸の2番目、市民の意見の聴取方法については、市民アンケートを実施するとの意見もあったが、市民の意見は、日頃の議員活動の中で情報を得ている部分もあり、必要に応じて、本日の会議までに意見を聞いていただいて、その後、議会内で方向性を取りまとめた後に、最終的にはパブリックコメントで意見を求めることとしたということであるが、この点についてはまた改めて確認をさせていただければと思っている。3番目、議会内の合意形成についてだが、本委員会の方向性を決定した後に、会派に属していない議員の方のご意見を聞く機会を設ける必要があるということで、意見は一致したところである。しかし、意見を聞く機会については、この議会改革調査特別委員会に無会派の議員の出席を求めようか、あるいは全員協議会で行うかについては結論に至らなかったところである。(2)のその他については特になかった。以上である。

4－(1) 議員定数について

長谷川委員長 次に次第の3、協議に移る。協議の(1)議員定数についてを議題といたす。事務局から資料の説明をお願いいたす。

事務 局長 それでは次の資料、市議会議員定数に関する調査結果ということであって、昨年もこの調査結果についてはご報告申し上げたところであるが、最新のデータが市議会議長会から公表されているので、これについて説明させていただく。おめくりいただいて、1ページのほうが調査の方法であるけれども、全国815の市と区を合わせた数であるが、こちらをオンライン調査によって回答をいただいたということで、回答率は100%である。2ページ目である。その調査結果の実数ということで(1)番では、調査結果、令和4年と令和3年の数を比較していて、市区数については815ということで変わらないが、議員の実数については、令和3年が1万8,680人であったところ、令和4年については1万8,510人ということで減少傾向である。1市当たりの平均人数ということだが、22.9から22.7に減少しているという状況である。それから(2)番は、人口段階別にみた市議会議員の実数の状況である。全国815の市を階層別に分類した状況である。上から2番目が5万人から10万人未満ということで本市議会についてはこちらに該当するところであるが、こちらに該当する市区数が237、1市当たりの平均人数が20.1人ということである。こちらについては次の3ページにも同じような表があるのだが、こちらの2ページについては実人員の表となっていて、次の3ページの表については定数の状況ということでまとめられているので若干数値違っているが、3ページのほうの(1)番については、定数の状況ということで、議員定数1市当たりの平均人数が23.3だったのが23.2と、定数については0.1減少しているという状況である。それから(2)の人口段階別にみた市議会議員の定数については、こちらでも5万人から10万人未満のところは237市区数で、1市平均は20.5ということである。それから、こちら、今ご紹介申し上げたのは市議会議

長会の調査であるし、次の資料をご覧ください、10万人未満の市区人口階層別議員定数ということで、これも同じように市議会議長会の資料から抜いたものであるが、こちらについては、個別の市の状況を集計いたして、本市議会事務局のほうで作成したものである。市議会議長会の調査のほうでは5万人から10万人というふうなことでかなり幅の広い階層であったので、10万人未満のところについてさらに1万人ごとに集計をしてみたものである。本市の市議会の場合は5万人から6万人未満ということであるので、その部分を網掛けさせていただいている。市区数については5万人から6万人というところが67である。それからその平均人口であるが、5万5,336人となっている。1市当たり平均すると19.15人ということであって、下段の表についてはこちらの数字を表にさせていただいたものである。横軸に人口階層を表示させていただいて、縦軸には、市区数とそれから議員定数を合わせて記載したものである。棒グラフのほうについては、市区の数ということで、数的には3万人から4万人未満が91ということで、多くなっている。それから4万人から5万人いうところが90自治体、それから5万人から6万人のところは67自治体ということで、本市はこちらのほうに入っているところである。同じく議員定数については、やはり人口、階層ごとに徐々に多くなるというふうなことであるが、4万人から5万人未満では18.58だが、5万人から6万人では19.15ということで、やはり人口にある程度連動するような形で議員定数が定められているという状況の表である。それから裏面をご覧ください、10万人未満の市議会议員定数の人口別散布図ということで、こちら、10万人未満の自治体が534あるけれども、その534を人口別で議員定数別ということでそれぞれ1市ずつプロットしたものである。本市については5万人から6万人の間のところに村上市議会ということで、定数22であるので、本市議会の位置を表示させていただいているところである。一応散布図になっているので赤い線についてはほぼ中心と思われるようなところで計算しながら線を引かせていただいているところである。ただあくまでもこれは平均ということであるので、それぞれの自治体の事情があるので、あくまでも参考ということでご覧いただければと思っている。説明は以上だ。

長谷川委員長 今ほどの報告で事務局より説明があったとおり、前回の議会改革調査特別委員会において、議員定数について委員各位からご意見をお聞きしたわけだが、議員定数削減の方向性については一致したものの、時期については一致に至らなかったところだ。改めて本日、委員の皆様より順番に、時期についての考え方をお伺いしたいと思う。

鈴木 一之 先般お話したとおり私は、改選時期、来年の春か、そちらから施行されるようなことを希望いたす。以上だ。

高田 晃 いろいろ悩むところではあるのだけれども、削減の時期については、準備ができて、改選時に間に合えば、それでもいいのかなと思うけれども、やはり先回もちよっといろいろな意見が出た。ここの場で決めることが、ほかの無会派の人とか、あるいは全員の議員の人たちの意見を聞くとか、いうふうな段階を踏んで、そして時期的に間に合うのであれば、それでも私としては、いいのかなというふうには考えている。

河村 幸雄 私も改選時期に間に合わせられるのであればそうしていただきたいのだけれども。来年度の本当の3月まで流れ込んだとかってというような話ではちょっと、どういうものかなというふうに思う。もし決めていただくのであれば年内中というような方向であれば、と思うけれども。

鈴木いせ子 私も河村委員と同じ考えである。

本間 善和 私のほう、木村委員いないのだけど会派を代表して話させてもらう。議員の削減については、会派のほうではOKという格好である。それでできる限り早くやってもらいたい。できる限り早くという格好で、議会のほうはこれから12月定例会、3月定例会があるわけだけれども、次期の改選に間に合うように、できれば早い時期の議会で削減を実施していただきたいという格好である。

尾形 修平 私は以前から申し上げているように、やはりこの定数の問題に関しては次期の来年4月の改選前に決めていただくと。今、河村委員、鈴木委員、鷺ヶ巣会さんからお話もあったし、市声クラブさんからもお話もあったけれども、できれば12月の定例会で決めていただければ、年明けて来年、本当に選挙に臨もうと思う方にとっても十分な時間的余裕はあるんじゃないかと思うので、そのように進めていただければと思う。

長谷川委員長 皆さんと同じで時期が間に合うっていうことを前提に、次の選挙のときに削減で、いくようになっていくこと。皆さんも同じ考えになったと思うので。削減の人数は別といたして本委員会として任期中に削減を実施する方向で協議を進めるということでもよろしいだろうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

長谷川委員長 ご異議ないようなので本委員会では任期中に削減を実施する方向で検討するということを進めさせていただく。次に、市民の意見の聴取方法について再確認だが、議会内で削減の人数等の案を確定した上でパブリックコメントで意見を求めることでよろしいか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

長谷川委員長 ご異議ないようなので、パブリックコメントで意見を求めることで進めさせていただく。次に、議会内の合意形成については無会派の議員の意見を聞く機会を設けることで一致したわけだが、本委員会に無会派議員の出席を求めて意見を聞くか、全員協議会で意見を聞くかについてお考えをお伺いする。ご意見のある方は発言をお願いいたします。どなたかあるか。

尾形 修平 無会派の方に関しては、この委員会で参集願うよりは、やはり全員協議会で、皆さんで意見を出し合ったほうが私はいいいのかなと思うので、ぜひ全員協議会の開催をお願いしたいと思う。

長谷川委員長 ほかにあるか。

(「ありません」と呼ぶ者あり)

長谷川委員長 では全員協議会で無会派の議員の皆さんの意見を聞くっていうことの方でまとめたいと思うがよろしいね。

(「はい」と呼ぶ者あり)

長谷川委員長 次に削減数について検討を行いたいと思う。削減数について、委員の意見を求める。
事務 局長 すみません、先ほどちょっと私説明不足の点あったので。先ほど散布図のところ、最後の資料の裏面であるが、10万人未満の市議会議員定数の人口別散布図というところで、村上市の議会の位置についてはご説明申し上げたところであるが、さらに説明申し上げると、議員定数が縦軸にとっているわけだけれども、こちら一メモリごとに1人という形で表示している。村上市議会のある縦軸のところを見ると、22ということで、俯瞰してみると、この22のところ、横にこうたくさん並んでいるのはご覧いただけるかと思うし、それからまた20のところも横にたくさん並んでいるところをご覧いただけるかと思う。あと18、16ということで偶数のところが比較的多く並んでいる状況である。これについては、採決のときに、偶数にしておけば議長を1人除いて奇数で、決定されるということが影響しているところもあるかと思うし、奇数でなくて偶数のほうが分かりやすいというふうなことで、偶数が多くなっているような要因もあるかもしれないが、そういう形で見ていただければと思っている。以上だ。

長谷川委員長 今事務局長が話した点も踏まえて、削減数について、ほかにある方。
本間 善和 削減の人数について、その前にちょっと事務局にお伺いしたいことがあるのだが、委員長いいか。

長谷川委員長 はい、どうぞ。
本間 善和 例えば、削減という格好で、今22なわけだけど、これが20になった18になったということで、これ想定だけれど、今3つの委員会が構成されているわけだけれども、例えば20になった場合は、委員会として、今の3つの委員会で、1人1つ委員会に入っていてOKだとか、例えば18になった場合16になった場合、いや人数が少なくなったから、3つの委員会にダブって入んなきゃならないとか、委員会を2つ構成にしなきゃならないとか、そういうようなことは起きないだろうか。その辺をちょっとお伺いしてからとって。

事務 局長 その辺については皆さんのこれからのご審議になるかと思うけれども、大枠の、まずは全体の定数を決定してから、細部についてはその後という形になるかと思うので、お示しいただいた2つの方法、胎内市さんのように2つの委員会に入る方法もあるし、あるいは委員会を2つにする方法もあるし、それは今後の話の進め方だと思っている。

本間 善和 分かった。

鈴木 一之 先般から、いろいろと参考資料も含めて、現状の中で20名ということでも、何ら運営上等々で、まずい点もないということであるし、5万人から10万人のところでも全国的にも20つというような格好で表されているところがあるので、本市議会も2名減の20人ということで、お願いできたらなと思う。以上だ。

長谷川委員長 他にあるか。

(「ありません」と呼ぶ者あり)

長谷川委員長 ではこの議会改革調査特別委員会は一応削減数を2名で、議員定数を20名ということでよろしいね。

(「はい」と呼ぶ者あり)

尾形 修平 今無会派の方の意見聴取をってことで、全員協議会っていうお話したんで、その辺も含めて、今後、全員協議会の開催時期、あとパブリックコメントをかける時期等を、もし事務局案あったら、示していただければと思うけれども。

長谷川委員長 一応今日決定した部分から。

尾形 修平 結局ほら、12月定例会ってことで皆さん意見の一致をみたわけだから、それに基づいて逆算していくといつぐらいになるのかなというのを聞いたかった。

事務 局長 今後の会議の開催だけれども、一応11月1日の午前中辺りに、全員協議会を、しようと思えばできるかなと思っているし、例えばこちらの議会改革調査特別委員会の会議を、そのあとでまた続けて開催するというふうなことも可能かなとは思っている。

長谷川委員長 なるべく早くこの件に関しては無会派の人に意見を聞きながらっていうことで、全員協議会は早めにするということによろしいね。

(「はい」と呼ぶ者あり)

4 - (2) その他

長谷川委員長 次に、(2) その他について事務局から何かないか。

事務 局長 ありません。

長谷川委員長 最後に次回委員会の開催日時を協議いたす。事務局から次回開催日時についての提案は、では11月1日以降すぐにやると・・・

事務 局長 それでは今話のほうが大分進んだので、では次は全員協議会でまずは無会派の方の意見を聞いてから、そのあとの会議になろうかと思うので、差し当たりは全員協議会を11月1日の午前10時からということで、調整させていただきたいと思っているし、なおその後、議会改革調査特別委員会の会議も引き続きできればまた進みやすいのかなと思っているので、そういうことでよろしく願いできればと思っている。

高田 晃 全員協議会で無会派の人たちの意見を聞くというので、それでいいのだが。無会派の人たちだけの意見じゃなくて全員協議会なので、他の議員の皆さんの意見も聞くということでもいいのだよね。

長谷川委員長 もちろん。そうだね。

委員長(長谷川 孝君) 閉会を宣する。

(午前10時52分)